



～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 23 年 9 月号 Vol.44

ハミガキ粉のお話

④

前回まで続いた、ハミガキ粉の話ですが、今回は、ハミガキ粉の落とし穴のお話をします。ハミガキ粉の落とし穴は、「研磨剤」です。この研磨は、汚れの除去に役立つのですが、実は、歯の弱い部分も削ってしまうのです。つまり、研磨剤が入っているハミガキ粉を使って、丁寧に時間をかけて、磨けば磨くほど、歯を削り、大事な歯が弱ってしまうのです。通常なら、唾液中のカルシウムが、歯に付着して、再石灰化という作用で削れた部分が復活するのですが、再石灰化のスピードと削るスピードを比べたときに削るほうが多いと歯が弱るのは目に見えています。歯が削られると、冷たいものを食べるとしみるようになったり、知覚過敏の原因になったりします。これが、ハミガキ粉の落とし穴です。研磨剤の成分の有無もハミガキ粉選びのポイントといえます。

夏

が過ぎ、秋を迎える

こんにちは、いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。9月になりましたね。8月はやはり暑かったですね。節電がキーワードになった夏だけに、余計に暑さを感じたのかもしれませんが、暑かったですね。9月ということは、一年のうちの三分の二が過ぎて、残り三分の一しか残っていないということになりますよね。歳を追うごとに、一年の重みを感じ、我が家の子どもたちも文字通り大きくなるので、自分自身は何が大きくなったのだろうかと感じざるを得ません。9月にあと三分の一などと思ってしまうのも、歳をとったせいかもしれませんね。8月には、お盆もあります、毎年同じように実家へ帰り、同じようにお墓参りをし、特別なことをしているわけではないはずなのに、その意味というか、脈々と受け継いできたものというか、歴史の重みというか、日本人のスピリッツというか、そんなものを感じた夏でした。震災の報道で、やや敏感にもなっているのでしょうね。家族がそろっていることのありがたさみたいなものも感じました。昼には蝉の声、夜には秋の虫の音が聞こえる日々に、季節の移ろいを感じ、夏が終わるんだなあと思っています。夏が終わり、世界も、日本も、そして、患者さまや私自身も、文字通り実りの秋を迎えられたらいいなと思っています。

院長 池上 誠

今年の9月11日は・・・

今年の9月11日は、なんだか特別な思いで迎えそうです。東日本大震災から半年でもあり、アメリカで起きた同時多発テロから10年という日でもあります。アメリカで起きたことは人災で、日本で起きたことは天災ではありますが、なんとなく相通じるものを感じます。どちらも、あり得ない、想像できないようなことが起きてしまっているのです。これから先も、同じようなことが起きるかもしれないと思うと少し不安にもなります。9月11日には、いろんな思いを込めて合掌したいと思います。

～あなたの声を聞かせてください（患者さまの声）～

このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。

画面を使ってわかりやすく説明して下さったので安心して治療を受けることができました。なかなか歯科クリニックへ行く機会がなかったので、パソコンを使っての説明がすごいと思いました。

（岡山市：匿名希望さん）

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上 誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から10分
いけがみ歯科クリニック
(086)237-7731